

おもてなしの“みちづくり”を進めています 掛川市内の3団体と「しずおかアダプトロードプログラム」の調印式を行いました

新東名の開通で、掛川市や森町など管内の市町を訪れる県外の方が増えています。袋井土木事務所では、訪れる方に、いつも“きれいな”道路を利用していただけよう、地域の皆さんや企業と協力して、おもてなしの“みちづくり”に取り組んでいます。

7月29日（月）に掛川市内の3団体と「しずおかアダプトロードプログラム」に基づく同意書の調印式を、掛川市役所で行いました。

調印式には、掛川市滝ノ谷区の戸田区長をはじめ、雨垂区の金原区長、株式会社大浜中村組の中村社長、掛川市の松井市長、袋井土木事務所長の加納所長らが出席し、同意書の署名が行われました。

新たに美化団体となった3団体には（主）掛川川根線ほか3路線で、除草やゴミ拾い、フラワーポットの維持管理などの美化活動に取り組んでいただきます。加納所長は3団体に「安全に気をつけて、活動をお願いします。快適な“道路づくり”のため、皆さんの協力をお願いしたい」とエールを送りました。



左から加納所長、中村社長、金原区長、戸田区長、松井市長

● 活動箇所



- 掛川市滝ノ谷区 活動箇所
（主）掛川川根線 掛川市滝ノ谷地区 L=1,700m
- 掛川市雨垂区 活動箇所
（国）150号、掛川市雨垂地区 L=630m
- 株式会社大浜中村組 活動箇所
（主）掛川大東線・（主）相良大須賀線の2路線
掛川市大坂地区 L=1,109m

今回の同意書の締結で、掛川市内の美化団体は4団体（袋井土木事務所管内では25団体）になりました。

袋井土木事務所では、これからも地域の皆さんや企業、市町と協力して、おもてなしの“みちづくり”を進めていきます。